

研究区分	学部研究推進
------	--------

研究テーマ	看護教育質保証に向けた取り組みと人材育成・リカレント教育の推進				
研究組織	代表者	所属・職名	看護学部・教授・学部長	氏名	山下 早苗
	研究分担者	所属・職名	看護学部・教授・研究科長	氏名	篁 宗一
		所属・職名	看護学部・教授・副学部長	氏名	畑中 純子
		所属・職名	看護学部・教授 ・看護実践教育研究センター長	氏名	荒井 孝子
		所属・職名	看護学部・教授	氏名	井上 健一郎
		所属・職名	看護学部・教授	氏名	太田 尚子
		所属・職名	看護学部・教授	氏名	竹熊 カツマタ 麻子
		所属・職名	看護学部・教授	氏名	富安 眞理
		所属・職名	看護学部・教授	氏名	林 みよ子
		所属・職名	看護学部・教授	氏名	藤田 景子
		所属・職名	看護学部・教授	氏名	操 華子

講演題目	看護教育質保証に向けた取り組みと人材育成・リカレント教育の推進
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>【研究の目的】 看護教育の質保証に向けたカリキュラムの検討ならびに教員の教育・研究力向上・看護師のリカレント教育を推進する。</p> <p>【成果と今後の展望】 平成30年度カリキュラムを当該卒業年度学生のDP達成度から評価するためにルーブリックを作成した。また、的確な評価を実施できるようにDPの表現等の見直しを行い達成度調査を行った。看護学研究科においては就労との両立をはかる博士後期課程および博士前期課程学生も滞りなく学習できるようサポート環境を整え、カリキュラムを遂行した。看護実践教育研究センターでは医療施設等のニーズの多い看護管理や看護倫理研修を立ち上げた。従来からの特定行為研修や看護研究研修等を周知し、参加者の増加に努めてリカレント教育の機会の提供と充実を図った。</p> <p>また、教員の研究・教育力の向上に向け、FD研修や特別講義の活用、若手教員への海外研究発表への支援を行った。</p> <p>なお、予算は看護学部・看護学研究科・看護実践教育研究センターの教育の推進のために、事務作業を担う学部長/研究科長の秘書雇用、学部教育における学内演習で使用する物品購入にも支出した。</p> <p>今後は、学部カリキュラムの多面的評価を実施するための方策を検討していく。これらの評価は令和4年度カリキュラムに反映させていく予定である。さらに、看護教育質保証には教員の研究・教育力の向上が必須であること、看護師の質保証には継続教育の一環としてリカレント教育が必要であることから、今年度の活動をPDCAを用いながら継続していく。</p>